

# 産科・婦人科 専門修練プログラム

## 1. プログラムの概略・特徴

熊本大学医学部附属病院産科・婦人科では、2年間の卒後臨床研修を終了した研修医を対象とし、日本産科婦人科学会専門医取得を目指した専門修練プログラムを行います。初期研修終了後7月までに日本産科婦人科学会に入会すれば、スーパーローテーションの2年間を含む卒後5年の経験で日本産科婦人科学会専門医の受験資格を得ることができます。この専門医資格は、その後の各専門領域の専門医の取得、ならびに母体保護法指定医の指定を受けるのに必須の条件です。

産科婦人科学会専門医を取得した後は産婦人科医としての総合的な能力を深めながら個々の適性・希望に応じた分野を中心とした診療や研究に従事し、各専門領域の専門医・指導医を目指すことになります。

## 2. 研修目標

### 【一般目標】

- 産科婦人科の患者の特性を理解し、暖かい心を持ってその診療にあたる態度を身につける。
- 産科婦人科患者を診察し、適切な診断、治療を行うと共に、各疾患の予防的な方策も指示できる臨床能力を身につける。
- あらゆる年代の女性の、すべての健康問題に関心を持ち、管理できる能力を身につける。

### 【行動目標】

#### 産婦人科的診療能力

#### a. 医療面接(問診)および病歴の記載

患者との間に良いコミュニケーションを形成して医療面接(問診)を行い、総合的かつ全人的にpatient profileをとらえることができる。病歴の記載は、問題解決志向型病歴をつくるように工夫する。

#### b. 産婦人科診察法

産婦人科診療に必要な基本的態度・技能を身につける。

視診(一般的視診、腔鏡診) 触診(外診、内診、直腸診) 生検、穿刺診(腹腔穿刺その他)

新生児の診察

#### c. 臨床検査法

産婦人科診療に必要な種々の検査を実施あるいは依頼し、その結果を評価して、患者・家族にわかりやすく説明することができる。

婦人科内分泌検査

基礎体温の解釈、頸管粘液検査、性ホルモン測定・負荷試験

不妊(症)検査

卵管疎通性検査(通気、通水、通色素、子宮卵管造影)、精液検査、精子頸管粘液適合試験、

子宮内膜日付診、子宮鏡、腹腔鏡

妊娠の診断

免疫学的妊娠反応、超音波断層法

感染症の検査

視診、生標本鏡検、細菌培養、原虫、梅毒、HBV、HCV、HTLV-I、HIV、TORCH感染症、淋菌、クラミジア

婦人科癌の検査

細胞診、コルポスコピー、狙い生検、組織診、子宮鏡、腫瘍マーカー

放射線学的検査

胸部・腹部単純撮影、骨盤計測、子宮卵管造影、尿路造影、骨盤血管造影、CT、MRI、PET-CT、RI検査

内視鏡検査

コルポスコピー、子宮鏡、腹腔鏡、膀胱鏡、直腸鏡

### 超音波断層法

- i) 婦人科領域:骨盤腔内腫瘍(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍その他)
- ii)産科領域:胎嚢、胎芽、子宮外妊娠、胞状奇胎、絨毛付着部位、多胎、胎児計測、羊水量、胎児形態異常、子宮頸管長、Biophysical Profile Scoring (BPS)、血流評価法

### 出生前診断

遺伝カウンセリング、超音波断層法、羊水穿刺・分析、マイクロバブルテスト、絨毛サンプリング、遺伝子診断、先天代謝異常症、TORCH感染症、血液型不適合妊娠

### 分娩監視法

胎児心拍数陣痛図、血液ガス分析

### d. 治療法

産婦人科治療のための注射、穿刺の適応ならびに内科的治療(輸血・輸液、薬剤の処方・与薬、食事療法などを含む)、外科的治療の適応を決定し、実施することができる。

妊産褥婦に対する薬物の安全性について検討し、適切な方針を決定することができる。

新生児の生理・病理を理解し、出生体重1,500g以上の新生児に適切な管理を実施することができる。

婦人科における薬物療法:ホルモン療法、漢方療法、感染症に対する化学療法、悪性腫瘍に対する化学療法など

婦人科手術療法

放射線療法

その他の理学療法:凍結療法、化学的焼灼法、レーザー療法など

産科における薬物療法:子宮収縮抑制剤、子宮収縮剤、感染症に対する化学療法

産科手術療法

新生児に対する治療:呼吸管理、輸液療法、光線療法

輸液・輸血療法

救急処置:婦人科救急、周産期救急(産科救急、新生児救急)

### e. 保健指導

小児期・思春期・周産期、成熟期・更年期・老年期女性の特性に配慮した保健指導を行うことができる。

## 3. 研修スケジュール

### 概要

3年目は熊本大学医学部附属病院で1年間の研修を行い、2年目以降は県内外の病院での診療、あるいは大学病院の医員として研究・診療に従事します。さらにNICU診療については宮崎大学、生殖内分泌医療については大分大学と、特定の分野について専門性の高い中九州地区の大学病院およびその連携施設における研修を組み入れることによって、これまでの枠にとられない充実した研修を可能とします。また大学院に進学して、一定の臨床経験を積みながら研究に従事することも可能です。定期的に三大学合同の学術集会・症例検討会を開催します。

コース	3年目	4年目		5年目	
A	熊本大学医学部附属病院	熊本大学医学部附属病院		熊本大学医学部附属病院	
B	熊本大学医学部附属病院	熊本大学医学部附属病院		熊本県内の連携施設	
C	熊本大学医学部附属病院	熊本県内の連携施設		熊本大学医学部附属病院	
D	熊本大学医学部附属病院	熊本県内の連携施設		熊本県内の連携施設	
E	熊本大学医学部附属病院	熊本大学	宮崎大学	大分大学*	熊本附属病院
F	熊本大学医学部附属病院	熊本大学	大分大学	宮崎大学*	熊本附属病院
G	熊本大学医学部附属病院	熊本県内の関連施設		大学院	

\*:中九州三大学の連携施設における地域医療研修を含む。

#### 4. 評価

基本的な知識・技術の習得の評価は、各大学の研修指導責任者ならびに実施責任者により行われますが、最終的には5年目以降に行われる日本産科婦人科学会専門医試験により判断されます。

#### 5. 募集人員

全コース合計で8名以内。

#### 6. 実施責任者

片淵秀隆(熊本大学・婦人科学教授)

#### 7. 指導責任者

大場 隆(熊本大学・産科学准教授)、大竹秀幸(熊本大学・婦人科学助教)

#### 8. 連携施設(中九州三大学合同プログラム)

大分大学医学部附属病院、宮崎大学医学部附属病院、およびその連携施設

#### 9. 連携施設(熊本大学)

熊本県内:荒尾市民病院、公立玉名中央病院、阿蘇温泉病院、NTT西日本九州病院、熊本市立市民病院、熊本市市民病院熊本市立産院、熊本赤十字病院、済生会熊本病院、国立病院機構熊本医療センター、日赤健康管理センター、愛育会福田病院、熊本生殖医学研究所(伊井産婦人科病院)、熊本労災病院、天草中央総合病院、上天草総合病院、公立多良木病院、水俣市立総合医療センター、(熊本セントラル病院、熊本市市民病院NICU、八代総合病院、公立小国病院、牛深市民病院)

熊本県外:宮崎県立延岡病院、(下関厚生病院、大牟田天領病院)

( ):現在常勤していないが勤務可能な病院

#### 10. 学会認定(熊本大学医学部附属病院)

研修施設認定:日本産科婦人科学会専門医制度、日本周産期・新生児医学会母体胎児専門医制度、婦人科腫瘍専門医制度、日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医制度、日本超音波医学会専門医制度

学会認定専門医:日本産科婦人科学会専門医:16名、生殖医療専門医:大場准教授、本田助教、婦人科腫瘍専門医(暫定指導医)・日本癌治療学会臨床試験登録医・死体解剖資格認定医:片淵教授、超音波医学会専門医:大場准教授、臨床遺伝専門医:大場准教授、田浦臨床助手、日本周産期・新生児医学会母体胎児専門医(暫定指導医):大場准教授

#### 11. 連絡先

〒860-8556 熊本市本荘1-1-1 TEL 096-373-5269(直通) FAX 096-363-5164

熊本大学大学院医学薬学研究部産科学・婦人科学分野 (医局長:本田律生)

E-mail: obgyn@kumamoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/obgyn/>